

課題研究要旨

## 道北地域における精神保健医療福祉の現状と歴史的展開に関する基礎的研究

松浦智和<sup>1)\*</sup> 永井順子<sup>2)</sup> 今西良輔<sup>3)</sup> 大島康雄<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup> 名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科 <sup>2)</sup> 北星学園大学社会福祉学部

<sup>3)</sup> 札幌大谷大学短期大学部 <sup>4)</sup> 道都大学社会福祉学部

### 1. 研究の目的・関心

筆者らは、2016年度名寄市立大学コミュニティケア教育研究センター課題研究の助成を受け、『道北地域における精神保健医療福祉の現状と歴史的展開に関する基礎的研究』を実施した。同研究は、道北地域における精神障害者に対するコミュニティケアの構築に資するべく、上川北部・宗谷・遠紋地域の精神保健医療福祉の現状と歴史的展開過程を明らかにすることを試みたものであった。そのなかでは、道立保健所の保健師や社会福祉法人理事長、施設長、精神障害者家族会会長等へのインタビュー調査を実施し、名寄市や紋別市を中心に、精神保健医療福祉の歴史的展開や転換期に加え、これまでに明らかになっていなかった関係者の取り組みや当事者の地域生活の状況などを検討することができた。

一方で、インタビュー対象者からは、道北の精神保健医療福祉の歴史や実態を調査していく過程では、稚内地区における実践も検討すべきとの指摘があった。これらの地域もまた、歴史的に医師や保健師、ソーシャルワーカーが制度・サービスが構築される以前より精神障害者の地域生活支援を実施してきた地域であり、他地域の専門職が手本としてきた活動があると言われている。そこで本研究では、前年の研究テーマを継続し、稚内地区における精神保健医療福祉体制の現状と歴史的展開過程を検討することを試みた。

### 2. 研究方法

本研究では、上記の目的・関心の下、資料・史料収集と分析を進めるとともに、稚内地区における精神保健医療福祉の歴史的展開を知る3名の専門職へのインタビュー調査を実施した。

インタビュー対象者	・A氏：稚内市内の障害福祉サービス事業所の施設長 ・B氏：稚内市内の障害福祉サービス事業所のソーシャルワーカー ・C氏：稚内地区の精神保健医療福祉について、歴史的経緯を知る保健師
調査方法	半構造化インタビュー調査、資料・史料収集と分析
調査内容	〈インタビュー〉 ・入職時の当該地域の精神保健医療福祉の状況について ・当該地域における精神保健福祉ソーシャルワーク活動の展開について(周辺のソーシャルワーカーや医師、看護師、保健師らとの連携を含む) ・これからの精神保健福祉専門職へ伝えたいこと ・保健所の活動(アウトリーチ、社会復帰学級など) 〈資料・史料収集〉 ・各地域の精神科病院史 ・各地域の社会復帰施設づくりのあゆみ ・各地域の精神保健福祉に関わる法人、事業所の史料

### 3. 結果

本研究では、3名へのインタビュー調査を実施し、稚内地区における精神保健医療福祉の歴史的展開の一端や、各地で新たな事業を展開する際にキーマンとなった人々の存在、地域の協働体制があったことが示唆された。史的展開は表の通りである。

表 稚内地区の精神保健医療福祉の歴史

年	事柄
1962年	市立稚内病院精神神経科開設(72床)
1974年	同院100床へ増床
1975年	精神障害者家族会「たんぼぼ会」設立
1978年	精神障害者回復者クラブ「はまなす会」設立
1986年	共同作業所「手づくり木馬館」開設
1990年	稚内地方精神保健協会設立
1992年	社会福祉法人稚内木馬館設立 知的障害者授産施設「稚内木馬館」開設
1995年	精神障害者授産施設「稚内第二木馬館」開設
1999年	市立稚内病院に精神科デイケア開設
2000年	精神障害者地域生活支援センター開設

\*責任著者 E-mail:matsuura@nayoro.ac.jp